

喪主挨拶（子） 家業の後継者として

皆さまには、大変ご多忙中にもかかわらず、またお暑い中を、亡き父の葬儀に、かくも多数ご参列下さりましてまことにありがとうございます。私は、長男の でございます。喪主として一言ご挨拶を申し上げます。

父 は 県 市で 家の長男として大正 年 月 日に出生致しました。 商業を卒業後、東京 に出でテツチ奉公の後、祖父が創立した現在の 株式 会社に入社。昭和三十年に同社を引き継ぎまして以来、 幾度の変転の後今日に至っております。社業がこれまでに 発展できましたのも、一重に皆さま方のご厚情のおかげ と感謝しております。七十二年 悔い^くない生涯をおくって 故人も満足し、かつ感謝の念を持ってあの世に旅立ったことと存じます。父になり代わりまして心からお礼申し上げます。今後は残った母を大切に、家族心を合わせて父の意志を受け継ぎ、社業発展のために身を捧^たげる覚悟で いたします。

「亡き父同様、ご厚誼^{こうじ}のほど切にお願い申しあげまして お礼の言葉に代えさせていただきます。

どうもありがとうございました。